

青梅市自治会連合会だより

自治会再始動

令和5年11月1日発行

第5号

青梅市自治会連合会 会長 宮口 泉



新型コロナウイルス感染症も5類感染症に移行し、これまで休止を余儀なくされておりました自治会活動も、今年度から多くが再開されております。人が集まるお祭り、大会、防災訓練等のイベントは、地域の人々を直接結び付ける貴重な機会であり、自治会を多くの人に知ってもらう加入促進の柱となるものです。依然として新型コロナウイルス感染症は予断を許さない状況にある中で、力強く自治会活動を進める取り組みを紹介してまいります。

各支会の活動報告

青梅市自治会連合会第1支会（青梅地区） 支会長 京正 等

本日は第一支会と青梅第一中学校の生徒の皆さんとのかかわりをご紹介します。青梅第一中学校はスローガンでもある「振る舞い輝く!!一中生」～3ない運動×SDGs(青梅一中バージョン)～を軸とし、人を思う心情が「振る舞い」として発揮できる力を養うことを基本的な考え方として、学校運営(経営)に取り組んでいます。3ない運動を推進して社会性を育み、ボランティア活動の更なる高まりを通して、社会貢献の心と自己有用感を育てています。近年では霞川の清掃活動、青梅大祭終了後の歩道・道路のごみ拾い、多摩川河川敷の清掃活動など広範囲に及んでいます。

平成27年からは自治会とのかかわりをより深めるボランティア活動に取り組もうと、青梅一中便りを各地域・地区の自治会長宅に直接生徒が届けるメッセンジャー制度を立ち上げました。

保護者の方にも理解していただき、可能であれば発行された日のうちに生徒が届けてくれます。

このボランティアは「地域メッセンジャー」と呼んでいます。この活動が今後少子高齢化の進む時代に地方からのSDGsへの取り組みの底上げなると願っております。自治会も若い力を信じて自助・共助に関わられるボランティアにエールを送りたいです。

こうしたボランティア活動が自治会員の新規加入につながることを信じています。



一中生徒ボランティア活動

青梅市自治会連合会第2支会（長淵地区） 支会長 宇津木 順一

新年度になりコロナ前の行事が出来るようになりました。

4月9日(日)には調布大祭を盛大に開催することができました。当日は、千ヶ瀬バイパスを午後2時から5時まで通行止めにして、各町の山車、神輿が集まり賑やかに春祭りを祝いました。7月には各自治会で納涼祭、盆踊り大会を行いました。今年は今までにない酷暑のため熱中症対策を行いながらの開催でした。また、第二支会全体でラジオ体操指導者講習会を開き、子供たちの夏休みに合わせて朝6時半からのラジオ体操を各連合自治会で一週間ほど行いました。各連合自治会共延べで250人位の参加者がありました。

今後の予定として防災訓練を各連合自治会でを行います。10月8日(日)には第52回第二支会市民運動会を、今回はプログラムを縮小して半日開催で行います。

11月4日(土)・5日(日)の2日間「長淵地区文化祭」を開催します。

11月23日(木・祝)に青梅市ウォーキングフェスタに第二支会で参加します。

11月26日(日)にビーチボール大会、令和6年3月17日(日)にファミリーゴルフ大会を行います。

予定した行事が充実した内容で実施できることを願っています。



調布大祭



ラジオ体操指導者講習会



納涼盆踊り大祭

青梅市自治会連合会第3支会（大門地区） 支会長 上田 實

今年度は、自治会活動もほぼ例年通りの活動ができるようになりました。

4月11日にはご来賓をお招き（4年振り）しての定期総会・懇親会を開催。

6月3日には、体育委員講習会で「ポッチャ」を実施し、懇親会も開催。

7月には、2ブロックは7自治会合同の盆踊り（7月29日）、3ブロックは今寺榎・西自治会合同（7月8日）、今寺4・5丁目自治会合同（7月22日）、



大門地区対策本部

2023 総合防災訓練

講評市長挨拶

谷野自治会、木野下自治会（7月29日）それぞれが盆踊りを開催。



今寺4・5丁目盆踊り

8月27日には青梅市総合防災訓練に大門地区防災対策委員会（第三支会）として大門地区防災対策本部設置には各自治会長、避難所開設訓練（3箇所）には、地域自治会員が参加しました。その中で、大門地区防災対策本部の設置、運営方法、各自治会長の役割分担、

避難所開設訓練等々課題が浮き彫りになった訓練でもありました。

やはり、地域の活性化には自治会活動が重要です。

青梅市自治会連合会第4支会（梅郷地区） 支会長 古屋 孝男

第4支会では、昨年度の中頃からコロナ禍で自粛していた行事や活動の再開に向けての機運が高まり始めました。その中で諸活動の再開の大きなきっかけとなったのは、昨年10月に4年ぶりに開催した第53回梅郷地区市民運動会でした。感染を防ぐ様々な対応を実施して迎えた運動会当日の会場には、選手をはじめ多くの来場者があり、大人や子供達からも運動会が楽しかった。運動会を開催してよかったなどのお話を頂きました。



ソフトボール大会

この運動会の再開が弾みとなり、また新型コロナが5類扱いとなったこともあり、本年度はビーチボール大会や卓球大会、五小、西中の先生チームも参加したソフトボール大会など第4支会定例のスポーツ行事をはじめ諸活動も従来通り復活しました。

また、支会内の各自治会では、コロナ禍前に行っていた各地区の例大祭、屋台などの模擬店や花火を取り入れた盆踊り大会や納涼祭等を再開し、多くの地元の人々の参加で賑わいました。併せて、「東京都の地域の底力助成」を活用した夏休みカヌー教室や包括支援センター・高齢者クラブ・自治会の連携による健康講座の開催などに取り組んだ事例等、それぞれの自治会が独自に取り組みを工夫しています。支会・各自治会の行事や活動への参加によって顔見知りが増え、会えば挨拶や言葉を交わし、人と人との繋がりが自然に広がっていく。そして、それが地域の安全や安心、いざという時の助け合う力になり、これが自治会活動の大きなメリットとしての共助の拡大への一助になっているのではないだろうかと思っています。

青梅市自治会連合会第5支会（三田地区） 支会長 平岡 孝

第5支会では、5月28日（日）に、「三田地区自主防災訓練」を実施しました。昨年は、自治会役員のための訓練でしたが、今年度は、地区住民にも参加頂き、各自治会での一時集合場所への避難訓練および要支援者訓練等を行い、延べ300人を越える参加を頂きました。その後、9月に「ファミリーゴルフ大会」や10月に「ビーチボール大会」を実施しました。

各自治会では、4年ぶりに行事を再開し、二俣尾自治会連合会では、8月19日（土）に石神社の境内において「納涼祭」を開催しました。屋台を利用する人、踊りに参加する人、石神社舞台での舞を観覧する人、西中ブラスバンド部の演奏に聞き入る人など、子供たちと高齢者が一緒になって夏の夜のひと時を楽しみました。

また、御岳本町第一自治会では、7月29日（土）に「盆踊り大会」を開催しました。地域住民の高齢化により踊り手が少ないことや、体力的な問題も考慮して踊る時間を短くし、地元のハワイアンバンドや囃子連等に協力を頂き、皆様に楽しんで頂きました。地域柄ラフティング関連の若い人や、中には外国人の姿もみられ、当日は地元消防団、清涼会、近隣自治会の有志の皆様方に協力して頂き、老若男女多くの人で踊りの輪に加わり大いに盛り上がりました。



納涼祭



盆踊り大会

青梅市自治会連合会第6支会（小曾木地区） 支会長 加藤 博行

令和5年9月3日（日）に実施の小曾木地区防災訓練では、自主防災組織役員と第六中学校生徒を中心に避難所開設、避難者受け入れの訓練を実施。約160人が参加した訓練では、避難所施設や備品確認、応急給水設置訓練を体験。地域と学校が協力し合い、地域の防災意識を高める訓練となりました。



簡易ベッドや簡易トイレの設置



応急給水設置訓練



避難者を受け付ける六中生



避難所の備品を説明する六中生

青梅市自治会連合会第7支会（成木地区） 支会長 加藤 利保

第7支会は成木川沿いの自然豊かな地域です。

【グラウンド・ゴルフ大会開催】

地域の多世代間交流として、6月18日（土）に開催しました。子供から高齢者まで約30名が参加し、地域の親睦を図ることができました

【ゆめ踊る夏のフェスティバル『成木地区大盆踊り 2023』開催】

「ゆめなりき」と共催の盆踊りが8月26日（土）、4年ぶりに開催されました。天気にも恵まれ、来場者数約400人の方々に成木の夜を楽しんでいただきました。

【自治会長写真】

第7支会も自治会が半数になりましたが、抜群のチームワークで今後も地域を盛り上げていきます！



グラウンド・ゴルフ大会



成木地区大盆踊り 2023



自治会長

青梅市自治会連合会第8支会（東青梅地区） 支会長 高橋 誠

平成29年度に発足した「第八支会子どもたちに地域の歴史と文化を伝える会」の活動は、今年で7年目を迎えます。最初の年に自治会長が出張授業を行ったのは第四小学校と霞台中学校の2校でしたが、年々活動の場を広げ、今年は、第四小学校、霞台小学校、吹上小学校、霞台中学校、吹上中学校の5校で出張授業を行います。授業を通じて青梅について改めて学ぶことも多く、後日、生徒からもらう感想文はとても励みになります。

また、地域の方々を対象とした公開授業は、昨年度に引き続き3回目の開催となります。去年は霞共益会館のホールで開催し、30名ほどの方々の参加がありました。

内容は、土器、お殿入り祭、獅子舞、勝沼城、江戸、青梅線、青梅縞、多摩弁、よもやま話と様々です。



霞台小学校



霞台中学校



一般公開授業

YouTube 配信中！

第八支会チャンネル 検索

公開授業をご覧いただけます
チャンネル登録をよろしく!!

青梅市自治会連合会第9支会（新町末広町地区） 支会長 小花 紀彦

地域交流の「納涼盆踊り大会」を紹介します。
第九支会の創立は今から50年ほど前になります。



準備の櫓組み

新町末広町地区の盆踊り大会は第九支会の創立前から青年団が行っていたのが始まりです。現在では第九支会が盆踊り大会を運営しており、各自治会や地域団体が模擬店を出して大会を盛り上げています。



納涼盆踊り大会



盆踊り大会には、自治会員だけではなくて地区にお住いの皆さんも来場されるので、自治会加入促進のためのティッシュを配布しています。保育園児が櫓で踊り、中学生ボランティアが準備運営をサポートしてくれるなど、子供たちから高齢者までの交流の場となっています。

青梅市自治会連合会第10支会（河辺地区） 支会長 嶋田 稔

夏祭りの復活



河辺7丁目 サックス演奏

令和5年7月15日～29日の間、第10支会の各12自治会の夏祭りが行われました。

コロナ明けの4年ぶりの開催で大変不安でしたが、盆踊りやお囃子、青梅太鼓の演舞等で盛り上がり、多くの会員が参加してくれて各会場は、盛況でした。

特に、輪投げ、メダカすくい、じゃんけん大会など子供向けのイベントが多く、いい思い出を子供たちに作ってあげられたと思います。子供たちの為にも自治会行事は大切だなーとの声も聞かれました。もちろん、焼きそば、焼き鳥、かき氷等の模擬店も多く、大人の方々も大満足しました。楽しい時間を過ごし、来年も楽しく開催ができると良いなあ～と。

このような行事を行うことで、会員同士の絆が深まり、いざという時の助け合いに繋がって行くものと考えます。



河辺1,2,3丁目、マンション合同納涼祭



河辺5丁目 青梅太鼓演舞

青梅市自治会連合会第11支会（藤橋・今井地区） 支会長 吉永 信之

第11支会は、藤橋自治会連合会と今井自治会連合会に所属する13の自治会で構成されており、市の東部に位置し、霞川や霞丘陵、茶畑など自然豊かな地域です。

コロナの前までは、藤橋自治会連合会と今井自治会連合会が、それぞれ盆踊り大会を開催していましたが、自治会加入世帯の減少や支会からの自治会の退会などもあり、これまでと同じように盆踊り大会を開催することが難しい状況となりました。

そこで、当支会では、今年度、新たに支会事業として「今井・藤橋合同夏祭り」を開催しました。開催にあたっては、支会役員を中心に、地域の多くの各種団体のご協力をいただき、計画から準備、実施、後片付けに至るまで、地域が一丸となって円滑に進めることができました。

当日は、お子様から年配の方まで老若男女問わず、約600人にご参加いただく中で、かき氷やポップコーン、ヨーヨー釣り、スーパーボールすくいなどの模擬店、太鼓や踊り、シャボン玉、バンド演奏などのステージショーを行い、盛会に終えることができ、久しぶりに地域の皆さんが顔と顔を合わせて集い、ふれあうことが出来る良い機会となりました。

自治会を取り巻く状況は厳しいものがありますが、今後とも、住民相互の理解や交流を促し、より良い地域コミュニティづくりが出来るよう、今回の様に創意工夫をしながら自治会活動を進めていきたいと考えております。



夏祭りの様子

（令和5年度 青梅市自治会連合会広報委員会）